

【健康投資効果シート】

青色セル：自己記入 オレンジ色セル：選択記入

<健康投資施策の取組状況に関する指標>

健康投資施策の取組状況に関する指標	概要/指標の算出方法	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	目標値	2023年度と昨年度の数値の差分	2023年度の数値と目標値の差分	対応する戦略マップに記載している健康投資	対応する健康投資の投資額
残業時間の削減	年間所定外労働時間	120	108	84	108	108	100	12	20	営業活動支援システムの運用 (i-crop-j)	
定期健康診断受診100%	定期健康診断受診率	100%	100%	100%	100.0%	100%	100%	0	0	定期健診実施	
再検査受診率の向上	再検査受診率	39.8%	39.3%	28.0%	38.8%	0.324	50%	0.5%	-10.2%	定期健診実施	
有給取得率の向上	有給取得率	46.9%	50.9%	45.1%	37.7%	37.7%	40.0%	-4.0%	6.9%	営業活動支援システムの運用 (i-crop-j)	
アプリ参加率の向上	アプリ参加率	47.5%	67.9%	63.7%	33.3%	33.3%	90.0%	-20.4%	-42.5%	健康アプリの運用	
喫煙環境、喫煙機会の減少	就業時間内禁煙による喫煙時間(分)	60	60	60	60	60	60	0		毎月22日禁煙デー設定	
ハラスメント研修の参加数	参加対象に対する参加率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		ハラスメント研修	
メンタルヘルス研修参加数	参加対象に対する参加率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		メンタルヘルス研修	

<従業員等の意識変容・行動変容に関する指標>

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	概要/指標の算出方法	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	目標値	2023年度と昨年度の数値の差分	2023年度の数値と目標値の差分
仕事の熱意や活力の向上	健康意識度調査 アンケート結果	54.0%	49.6%	57.9%	57.1%	60.0%	70%	4.4%	-16.0%
健全な食生活を送る従業員の割合	健康意識度調査 アンケート結果	53.0%	60.4%	62.8%	57.3%	58.5%	60%	-7.4%	-7.0%
睡眠による休養が十分	健康意識度調査 アンケート結果	62.1%	62.7%	63.6%	62.9%	66.6%	70%	-0.6%	-7.9%
飲酒習慣のある従業員等の割合	健康意識度調査 アンケート結果	29.6%	29.4%	30.1%	32.7%	33.5%	30%	0.2%	-0.4%
運動習慣のある従業員の割合	健康意識度調査 アンケート結果	30.4%	31.6%	29.3%	29.8%	25.7%	17%	-1.2%	13.4%
喫煙者比率	健康診断時の問診	33.4%	33.8%	34.8%	37.8%	38.0%	28%	-0.4%	5.4%

<健康関連の最終的な目標指標>

健康関連の最終的な目標指標	概要/指標の算出方法	数値的な健康関連の最終的な目標指標の場合							定性的な健康関連の最終的な目標指標の場合		各健康関連の最終的な目標指標に係る健康投資額
		2023年度	測定人数	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	目標値	2023年度と昨年度の数値の差分	2023年度の数値と目標値の差分	
アブセンティーズム	傷病欠勤制度および傷病休職制度利用日数の全従業員平均	0.43	2024年3月末 在籍者ベース	0.33日	0.14日	0.42日	0.13日		-0.10日		
プレゼンティーズム	パフォーマンススコア(健康意識度調査)不定愁訴16項目平均	54.1%	789名	55.1%	52.1%	50.6%	50.9%	45%	-1.0%	9%	
ワーク・エンゲイジメント(仕事への熱意や活力)	パフォーマンススコア(健康意識度調査)	49.6%	789名	49.6%	57.9%	57.1%	60.0%	70%	0.0%	-20%	
仕事満足度	パフォーマンススコア(健康意識度調査)	75.9%	789名	75.0%	76.6%	77.0%	78.9%	80%	0.9%	-4%	

個人パフォーマンスの向上、不健康や疾病による生産性低下の防止を健康経営で解決したい経営課題と捉えて健康経営活動を続けております。ワーク・エンゲイジメントを高めるために、食生活・睡眠・運動習慣をを高めることにより一層注力して参ります。アプリの再インストールから開始し、よりアプリ利用率を高めます。また、喫煙率低下に対しても、卒煙サポート制度の施策は投じたものの、社員の認識度の低さや利用率が「0」とどまったしまいました。健康経営事務局の働きかけに課題を感じています。次年度は、「健康イベント」実施時や、定期的に制度のアナウンスを行うこと、新たに健康経営サポーターを各拠点に設け、制度の説明や、禁煙希望者へのアプローチを図っていくと同時に、現状把握・課題抽出・対策・検証を繰り返していきます。